

森林・林業のための情報・IT技術 2

～ 課 題 と 練 習 1 ～

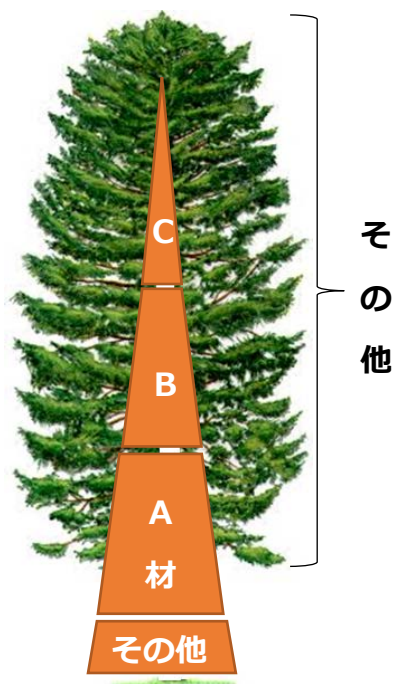


岐阜県立
森林文化アカデミー

IT2 の 課 題 目 標

ICT技術を使って森林調査し、森林バイオマス資源量を推定するための調査をしよう。

- ・対象地は演習林の「二-8小班」
- ・A材、B材、C材、その他に分けて材積を把握するのに必要なデータを収集
- ・間伐の選木方針、腐り・虫害・風雪外の程度、樹種、胸高直径、樹高など



森林バイオマス資源量	
A材	? m ³
B材	? m ³
C材	? m ³
その他	? m ³
合計	? m ³

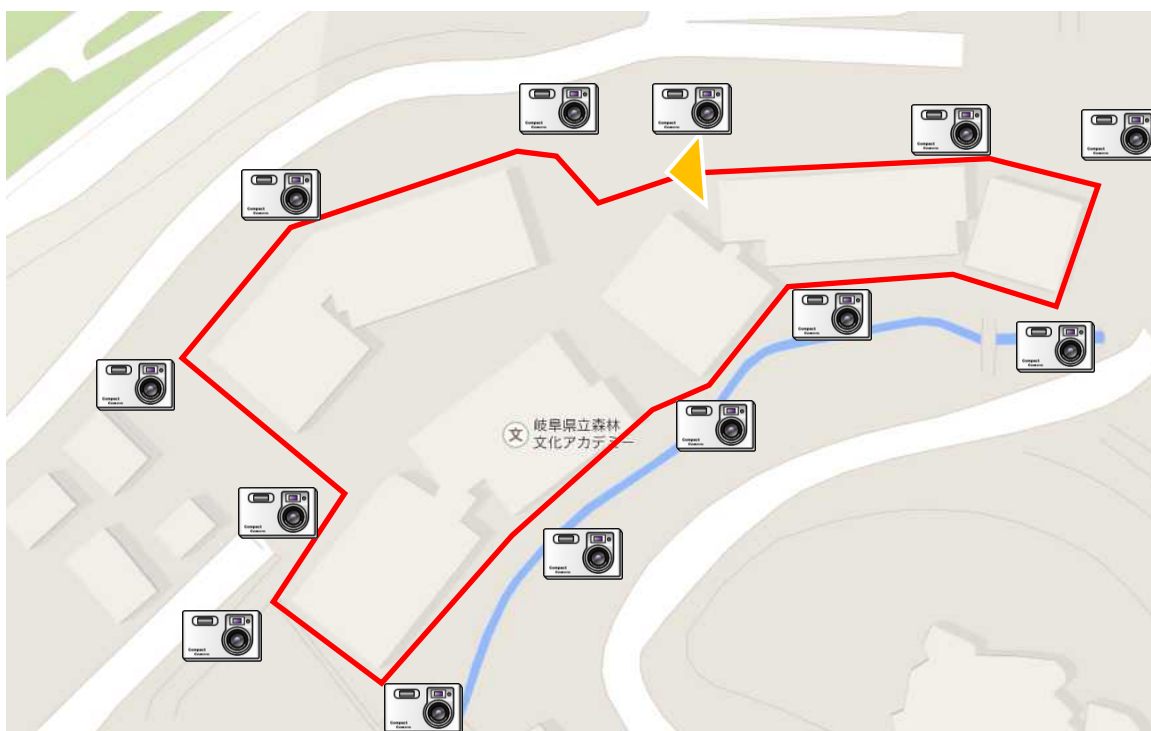
手 順 の 流 れ

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 「二-8小班」の正確な面積を把握する→ | ①電子コンパスを使って周囲測量
②GISでデータ加工してWeb共有
③現地の状況写真もWebで共有 |
| 2. 「二-8小班」で標準地調査をする → | ④スマホで現場のデータ収集
⑤林況も撮影してスマホで送信 |
| 3. 現地調査データをGISで解析する → | ⑥Webから現場データを入手
⑦GISで調査データの調整と加工
⑧対象地の材積量を算定 |
| 4. 推計式にあてはめて資源量を推定する → | ⑨WebGISで結果を共有 |

①電子コンパスを使って校舎の敷地を周囲測量する練習

★練習する事項

- ・ 赤線のラインに沿って電子コンパスで測量し、データを野帳に記録する
- ・ 要所で周囲の風景をスマホ撮影する（測量状況や場所がわかるように！）
- ・ スマホは2台利用（写真と野帳記入）が望ましい



ポイント・・・できるかぎり、スマホによる野帳記入を体験すること

- ・ スマホにExcelが読めるアプリをインストールしておく



- ・ スマホに“yacho.xls”をダウンロード、または、PCからコピー
DL先URL : <http://nacap.jp/academy2015/tool/yacho.xls>
- ・ スマホから上記アプリで“yacho.xls”を読み込んで使用
- ・ 現場でデータ入力後、PCへ“yacho.xls”をコピー（ケーブル or WEB経由）
- ・ “yacho.xls”から“コンパスto GIS”へデータをコピー

◆スマホのアプリ準備

1 スマホのアプリインストール準備

端末のデバイス要件を下記サイトで確認 特に OS が要件以上となっているか

- ArcGIS アプリケーション

<http://www.esri.com/products/arcgis-applications/environments/>

- Collector for ArcGIS

<http://www.esri.com/products/collector-for-arcgis/environments/>

2 アプリのインストール

- スマホで現場の GIS データを収集するアプリ

①Apple ストア、Google Play で、「ArcGIS」を検索

②「ArcGIS」をダウンロードし、インストール



- スマホで WebGIS（地図）を閲覧するアプリ

①Apple ストア、Google Play で、「ArcGIS」を検索

②「ArcGIS」をダウンロードし、インストール



- （インストールは任意）GPS の精度を向上させるアプリ

①Apple ストア、Google Play で、「gps」を検索

②精度向上アプリをインストールする（例 GPS STATUS

など） 参考 URL: <http://ap-land.com/archives/2601>



3 スマホの写真に関する基本的設定

①カメラ機能の「設定」で「位置情報を付加」にする

②GPS 機能を ON にする

③外に出て、GPS が落ち着くまで待つ

④GPS が現在地を補足したら写真を撮影する（このとき、現在地が少々ずれていても可）

4 GPSの扱い

①天空開口度が大きい場所に移動して、位置が確定するまでしばらく待つ

◆コンパス測量(周囲測量)における測定の手順

準備1 最初に、電子コンパスマン、野帳マン、ポールマン、カメラマンの役割を決定する

準備2 測量開始地点（BP）の座標をメモする

BP座標	北 緯	東 経

注意：

GPSで座標を見るので、準拠楕円体は“WGS1984”、地理座標系となる

1 電子コンパスに電池が入っているか、確認する

2 (森林内測量用の)フィルタがついているか、確認する

3 スイッチを入れる ←→ スイッチを切る

Fire ボタンでオン、▼▲ボタンの同時押しでオフ

4 磁気偏差を設定する

7.1°に合わせる。測定結果をソフトウェアで修正できる場合には必要ない。

5 「方位角センサーキャリブレーション」を行う

その日の初回測定時にスイッチオンした場合や測定する場所が変わった場合には必ず行う、自分で持ってするときには、回転軸を意識しながらすると成功確率が高くなる。

6 特定の場合にのみ「傾斜センサーキャリブレーション」を行う

必ずしも必要ないし、実務でも通常は行っていない。

7 念のため、単位も確認しておく

一度セットしておけば問題ない

8 基点座標（最初に測量を始める点）をGPS で測定し、野帳に書き取る

9 周囲測量は、SD（斜距離）、INC（高低角）、AZ（方位角）またはHD（水平距離）とAZ（方位角）を読み、野帳に書き取る

10 森林内ではフィルタを付けてミラー板までの距離等を測定するのでFlt(フィルタ)モードにする

練習でフィルタなしで行う場合は、Std モードで行うことがあります。

【 表示 】

①：測定結果やメッセージ

②：測定単位

距離：METERS、FEET、YARD

傾斜角：DEGREES（度分秒）

PRERCENT（%） ③：十字線

⑥：SD 斜距離、VD 比高差、HD 水平距離 INC 高度角、AZ 方位角、HT 2点間の比高差（樹高等：後述）
測定後、▲ ▼でモードが切替り最後の測定値を表示します。 周囲測量はSDかHDで行ってください。

④：ステータス

BATT：バッテリー残量低下

LASER：レーザ光を照射中 MULTI：目標物モードで複数の目標物が記録されている。

⑤：ターゲットモード

（距離測定モードに連動します）

【 距離測定モード 】

1. 測定モードで ▲ を4秒以上押し続けます。 望遠鏡内に測定モードが表示されます。

▲ ▼でモードが変わります。 Std ▼ Con ▼ Clo ▼ FAr ▼ Flt

2. **Fire ボタン**でモードが決定されます。モード決定後**Fire ボタン**を押すと距離を測定します。

Std・・・スタンダードモード：レーザ光が当たったもの（何でも）

を1回測ります。距離はレーザ光が当たった物体から跳ね返った平均値になります。

Con・・・連続測定：**Fire ボタン**を押し続けると連続で測定値を表示します。

Clo・・・近距離：**Fire ボタン**を押し続けると測れた物のうちで最も近い距離値を表示します。

FAr・・・遠距離：**Fire ボタン**を押し続けると測れた物のうちで最も遠い距離値を表示します。

Flt・・・フィルターモード（森林フィルタを付けます）：反射板までの距離しか測りません。

★★ 森林内での周囲測量は必ずフィルターモードで森林フィルタを付けて行ってください

【 単位の設定 】

1. 測定モードで▼を4秒以上押し続け、

UnitS と表示されます。

2. **Fire ボタン**を押し、FEETやYARDS

と表示する場合は▲や▼ を押し METERS

と表示させ**Fire ボタン**を押します。

3. 続いてPERSENTと表示する場合は▲や▼

を押し DEGREES と表示させ**Fire ボタン**を押します。

【 樹高測定（HT測定） 】

1. 測定モードで ▼ を数回押して HD点滅、HT点灯の表示にします。

2. 目標物のターゲット（反射板）を視準して **Fire ボタン**を押すと、対象物までの距離が1秒間表示され、すぐにAn9_1と表示、同時にINCが点滅します。

3. 高さの測りたい箇所（反射板の上下方向）の片方を視準して **Fire ボタン**を押すと、傾斜角が表示され、すぐにAn9_2と表示、同時にINCが点滅します。

4. 高さの測りたい箇所（反射板の上下方向）のもう片方を視準して **Fire ボタン**を押すと、傾斜角が表示され、すぐにMETERS HT と一緒に2箇所の比高差を表示します。（別のボタンを押すと終了します）

【 ワイヤレス通信の確認 】（Trupluseは測れているがデータがPDAに転送されない場合）

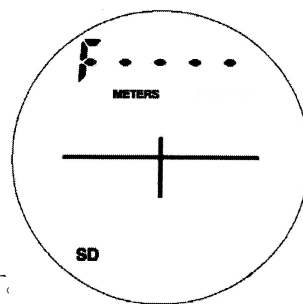
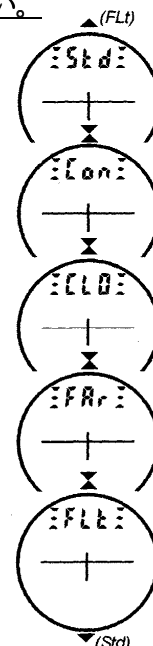
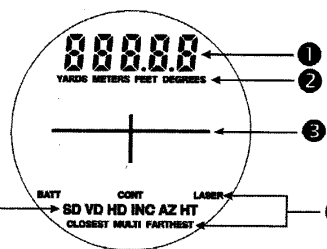
1. 測定モードで ▼ を4秒以上押し続けます。UnitS と表示されます。▼ を1回押すと bt と表示します。

2. **Fire ボタン**を押し、bt_oFFの場合は▼ を1回押し、bt_onと表示させ**Fire ボタン**を押してください。

3. DT10は 再起動を行い、起動後にスタート — 設定 — 接続 — Bluetooth接続の起動を先に行ってください。

【 電源OFF・注意事項 】

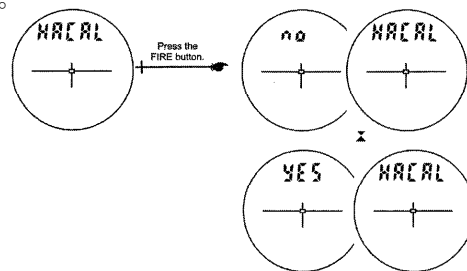
- 本体には磁方位センサーが内蔵されています。携帯電話などの金属物は30cm以上離して使用してください。
- 次ページの方位角キャリブレーションは必ず行ってください。なお、電池が磁場を作りますから1日交換しなくて良い電池を用意してください。万一、交換した場合は必ず方位角キャリブレーションを再度行ってください。
- 電源OFFは▲と▼同時に4秒以上押します。通信のPinCordは 1111です。



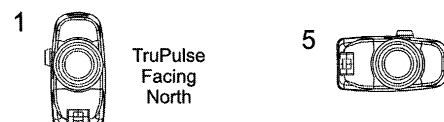
F・・・フィルターモード
METERS・・・メートル表示
HD：水平距離 SD：斜距離
VD：比高差のいずれか。
INCやAZでは測れません。

【方位角センサーキャリブレーション】・・・原則として毎日計る前に必ず行ってください。

1. 測定モードで▼を数回押して、AZ（方位角）表示で、おおよその北方向（±20° 以内）を探します。
2. 測定モードで ▼ を4秒以上押し続けると UnitS と表示されます。
3. ▼ を3回押すと、H_Ang と表示されます。
4. H_Ang と表示されたまま **Fire ボタン** を押すと、dECLn と表示されます。



5. ▼ を1回押すと、HACAL と表示されます。
6. HACAL と表示されたまま、**Fire ボタン** を押すと、no と HACAL と交互に表示します。（右図）
7. ▼ 1回 を押すと、YES と HACAL と交互に表示されます。
8. **Fire ボタン** を押すと C1_Fd と表示されます。
9. Trupluse360 をおおよその北方向に向け、1秒以上静止させて後に **Fire ボタン** を押します。（右図の1）



10. 1秒以上静止させた後に90° 下方向に回転し1秒以上静止させた後に **Fire ボタン** を押します。（右図の2）



C2_Fd と表示されます。（次は右図の3を行うという表示）

11. 以降、順次8方向行います。



終了すると

PASS・・・成功 **Fire ボタン** を押すと測定モードになります。

Fail1・・・失敗 機器が不安定に動かされた。

Fail2・・・失敗 異常な磁気がある。強い磁気を持つ人工物がないか。

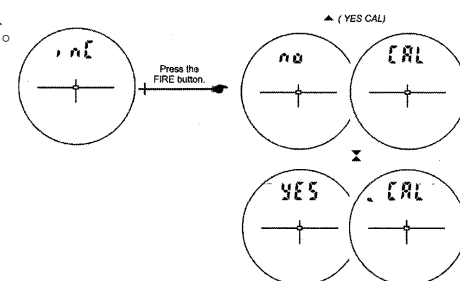
Fail3や4・・・失敗 磁気方向が整合性をもてない。

Fail6・・・失敗 キャリブレーションの手順間違い。



【傾斜センサーキャリブレーション】・・・できれば1日1回、また衝撃を与えた場合は必ず行ってください。

1. 測定モードで ▼ を4秒以上押し続けます。 UnitS と表示されます。
2. ▼ を2回押すと、inC と表示されます。
3. inC と表示されたまま、**Fire ボタン** を押すと、no と CAL を交互に表示します。（右図）



4. ▼ 1回 を押すと、YES と CAL と交互に表示されます。

5. **Fire ボタン** を押すと C1_Fd と表示されます。

6. Trupluse360 を固定された台の上に置き、1秒以上静止させた後に **Fire ボタン** を押します。（右図の1）



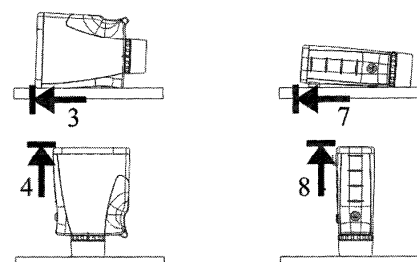
C2_Fd と表示されます。（次は右図の2を行うという表示）

7. 1秒以上静止させて後に、90° 下方向に回転させ、1秒以上静止させた後に **Fire ボタン** を押します。（下図の2）



C3_Fd と表示されます。（次は右図の3を行うという表示）

8. 以降、順次8方向行います。



終了すると

PASS・・・成功 **Fire ボタン** を押すと測定モードになります。

Fail1・・・失敗 機器が不安定に動かされた。

Fail2・・・失敗 異常な磁気がある。強い磁気を持つ人工物がないか。

Fail3や4・・・失敗 方向が整合性をもてない。

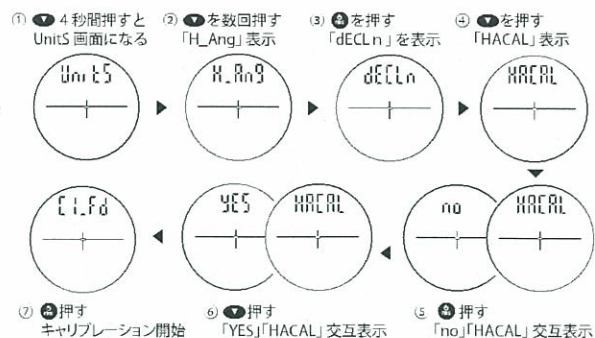
Fail6・・・失敗 キャリブレーションの手順間違い。

TruPulse360° コンパスキャリブレーション

測定開始前に現場で必ずキャリブレーションを行ってください。
電池交換後もキャリブレーションを行ってください。

- ① TruPulse360°を北の方に向けます。(±15°～20°の範囲)
測定モードの状態から **[FIRE]** を4秒間押す → 「Unit S」が表示
- ② **[FIRE]** を数回押し「H_Ang」を表示
- ③ **[FIRE]** を押し「dECLn」が表示
- ④ **[FIRE]** を押し → 「HACAL」が表示
- ⑤ **[FIRE]** を押し → 「no」と「HACAL」が交互に表示
- ⑥ **[FIRE]** を押し「YES」と「HACAL」を交互に表示させる
- ⑦ **[FIRE]** を押しキャリブレーションのスタート画面「C1_Fd」が表示

キャリブレーションは北(磁北)を向きながら行います。(±15°～20°) 本体の方向を変えるたびに **[FIRE]** を押します。



① **[FIRE]** を押す



⑤ **[FIRE]** を押す



② **[FIRE]** を押す



⑥ **[FIRE]** を押す



③ **[FIRE]** を押す



⑦ **[FIRE]** を押す



④ **[FIRE]** を押す



⑧ **[FIRE]** を押す




最後に画面に表示されるメッセージ

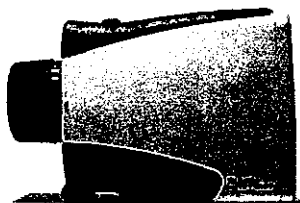
- | | |
|----------------------|-------------------------|
| PASS 成功 | Fail 3 失敗・・・数学的な適合エラー |
| Fail 1 失敗・・・機器が不安定 | Fail 4 失敗・・・収束エラー |
| Fail 2 失敗・・・周辺の磁気が強い | Fail 6 失敗・・・北(磁北)を向いてない |

失敗の場合 **[FIRE]** を押してやり直します。
成功の場合 **[FIRE]** を押して測量を開始してください。
コンパスキャリブレーション中断は **[FIRE]** を4秒押します。

TruPulse360° 傾斜センサーキャリブレーション

TruPulse360° を落下させた時など、機器に衝撃を与えたときに行います。
 平らな場所に置いて行います。(±15°) 本体の方向を変えるたびに  を押します。

①  を押す



⑤  を押す



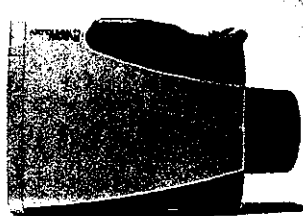
②  を押す



⑥  を押す



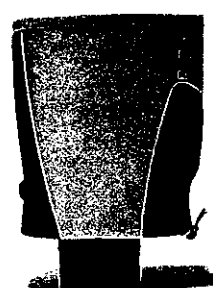
③  を押す



⑦  を押す



④  を押す



⑧  を押す




最後に画面に表示されるメッセージ

PASS 成功


FAIL 1 失敗・・・機器が不安定

FAIL 3 失敗・・・数学的な適合エラー

FAIL 4 失敗・・・収束エラー

失敗の場合  を押してやり直します。

成功の場合  を押して測量を開始してください。

傾斜センサーキャリブレーション中断は  を 4 秒押します。

②GIS でデータ加工して Web 共有する練習

測量データの整理・・・コンパス to GIS を使う

1 コンパス to GIS_4.00.xls を開く

● コンパスtoGIS.xls 説明書

・画面構成

1 測量成果入力

- ・濃い黄色の部分に入力された測量成果が図形になる。
- ・右のBP1～BP10までの欄は、分割して測量した場合に使用する。

測量成果表

表のクリア

☒ セル移動制御

☒ 測点入力

表の合成

☒ 測点の合成

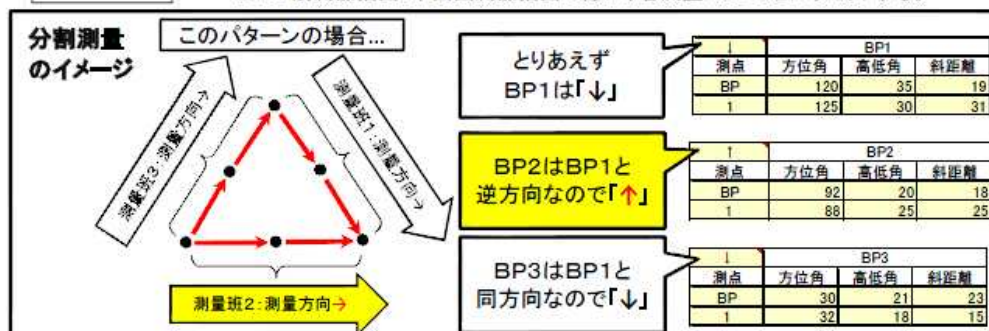
☒ BP別測点描画

[表のクリア]: 現在入力されている値を消去する。

- ☐ セル移動制御: Enterキーで移動する順番を制御する。
- ☐ 測点入力: セル移動制御時に測点にカーソルを移動するかどうか選択。

[<< 表の合成]: BP1～BP10まで入力した分割測量を、一つの成果表に統合する。

- ☐ 測点の合成: 各測量の測点名を、統合する際に反映させる。
- ☐ BP別測点描画: 平面図測点描画の際に、各測量のBPごとにリセットする。



2 属性入力表を完成する

ポイント1：データの出力形式の部分は、このままにしておく



ポイント2：BP座標は「緯度経度入力」を選択し、BP座標を入力

「座標確認」で入力値が正しい場所であることを確認する

☐ 公共座標入力

☒ 緯度経度入力

座標確認

Googleマップ

地理院地図

ポイント3：座標系は「7」を選択

座標系	7
-----	---

ポイント4：磁気偏角補正は「する」を選択

磁気偏角補正	する
--------	----

3 測量成果入力へ野帳からデータ入力する

ポイント：“yacho.xls”から該当部分をコピーすればよい。手入力でも可

測点	ターゲット	方位角	高低角	斜距離
BP	1	33	-38	45.3
1	2	122	35	50.7
2	3	129	38	33.5
3	4	130	28	13.3
4	5	156	25	34.5
5	6	163	28	48.3
6	7	147	27	31.7
7	8	174	16	12
8	9	166	12	24
9	10	154	30	27.8
10	11	181	32	16.7

4 プレビュー操作の閉合誤差欄にチェックする

プレビュー操作

☒ 閉合表示

▲

▼

▲

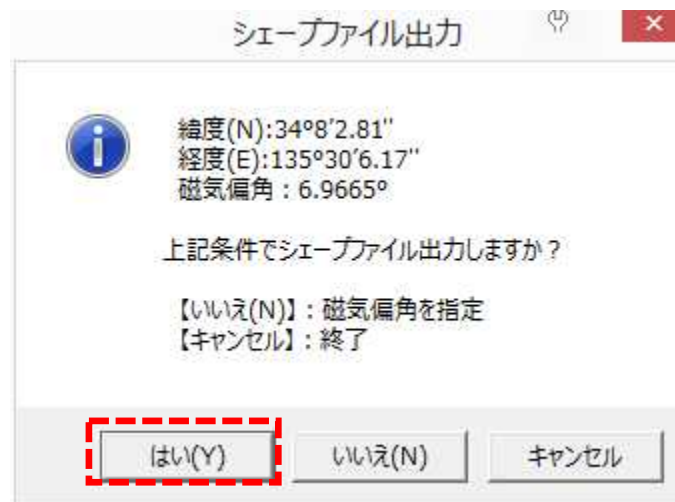
▼

◀

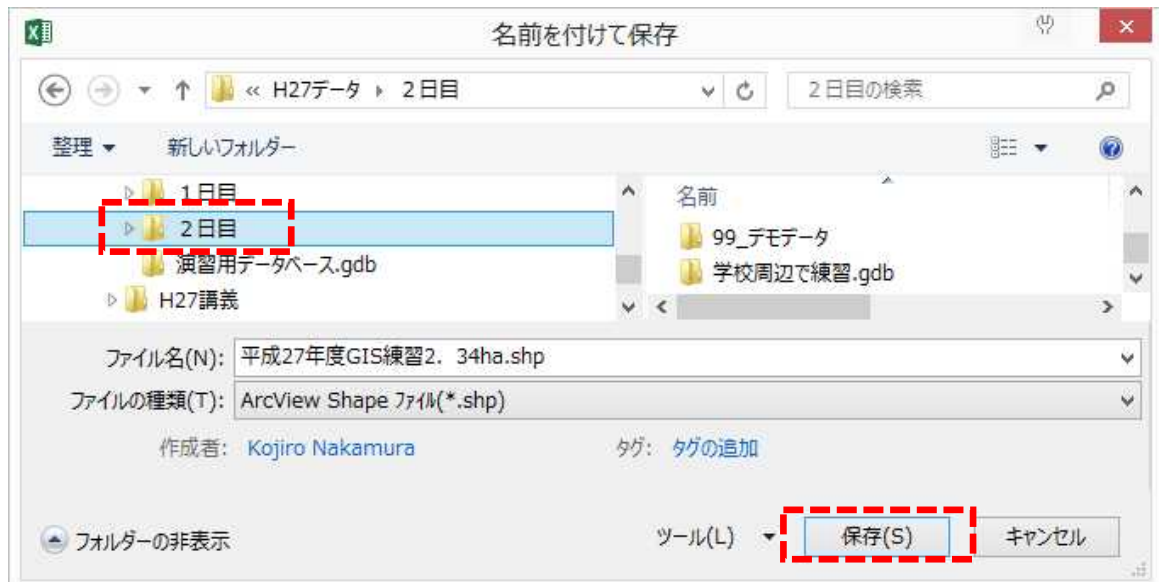
▶

リセット

5 平面図の周囲測量の形状を確認し、ファイル出力（シェープファイル）する



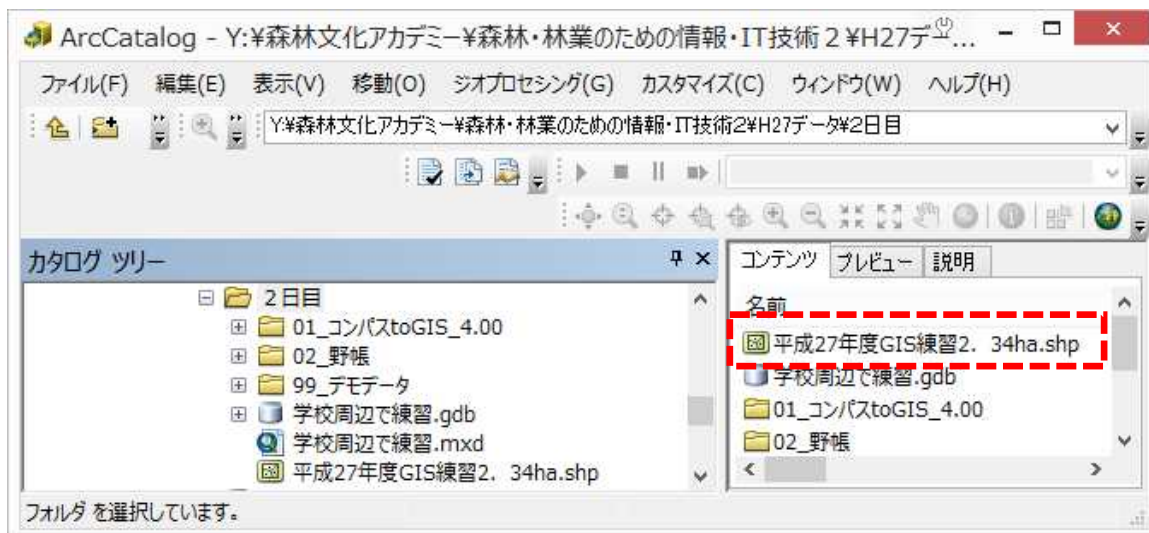
6 今日のフォルダ（2日目フォルダ）に保存する



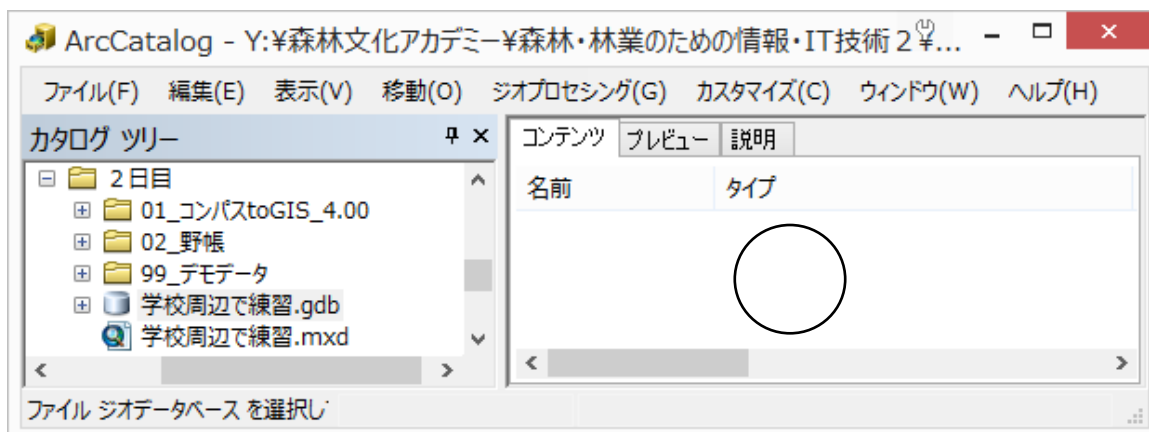
ポイント：シェープファイルは、平面直角座標系 7 系(JGD2000) で出力される

GIS で表示する準備・・・ArcCatalog でジオデータベース化し、座標系確認

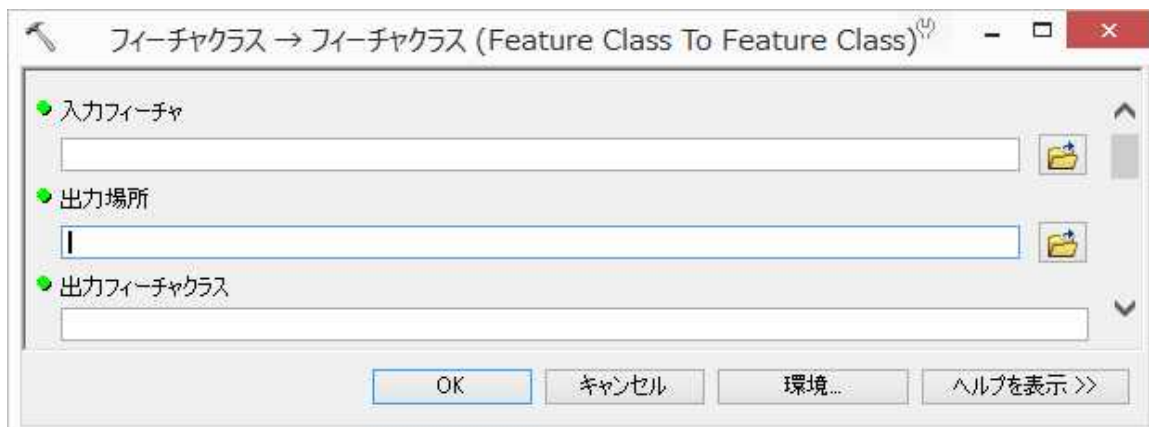
- 1 ArcCatalog を開いて今日のフォルダ（2日目フォルダ）に接続し、コンパス to GIS で作成した周囲測量ポリゴンを確認する。



- 2 ジオデータベース「学校周辺で練習.gdb」を W クリックする。



- 3 上図の○印部分で右クリック―[インポート]―[フィーチャクラス(シングル)]



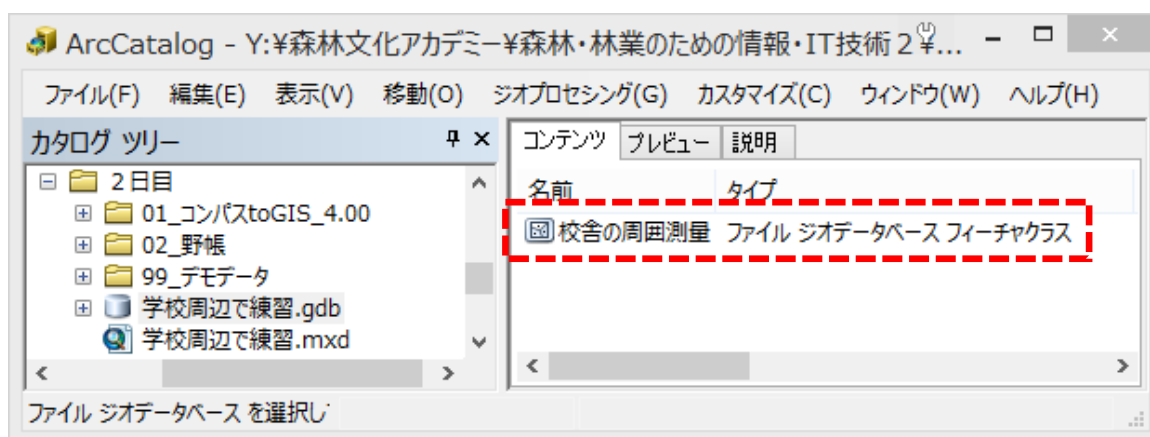
4 次のように入力して OK をクリック

入力フィーチャ : コンパス to GIS で作成した周囲測量ポリゴン

出力場所 : 学校周辺で練習.gdb

出力フィーチャクラス : 校舎の周囲測量

5 「校舎の周囲測量」フィーチャがジオデータベースに格納されたことを確認

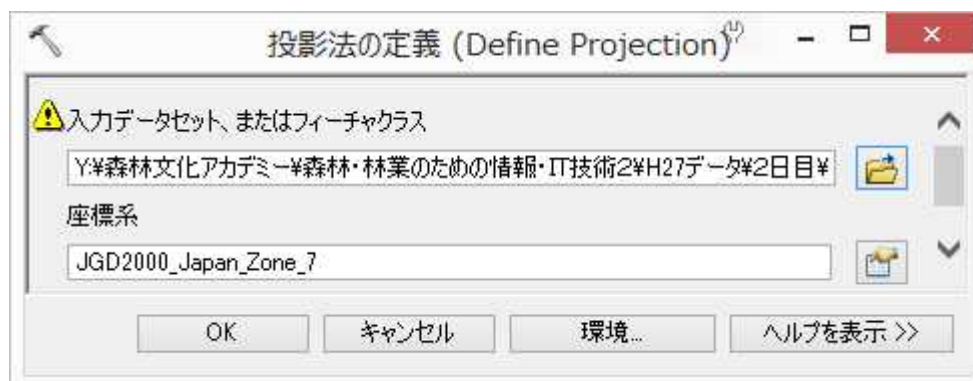


6 [ArcToolbox]—[データ管理ツール]—[投影変換と座標変換]—[投影法の定義]



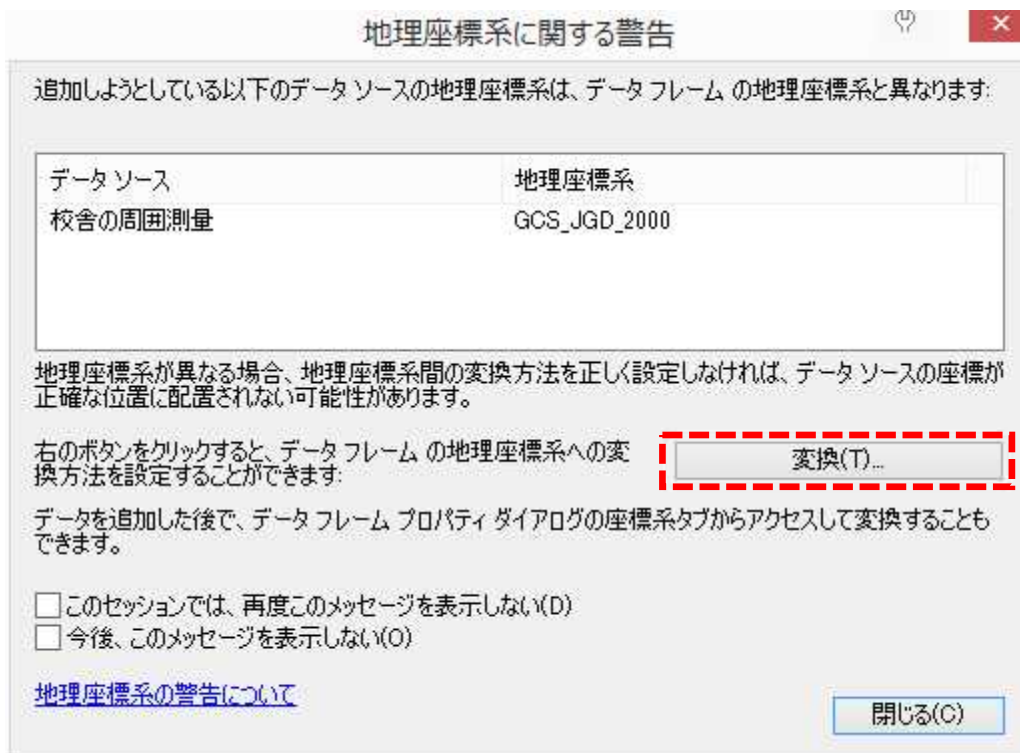
7 上段のフィーチャクラスに「校舎の周囲測量」を入力

下段の座標系が「JGD2000_Japan_Zone_7」になっていることを確認



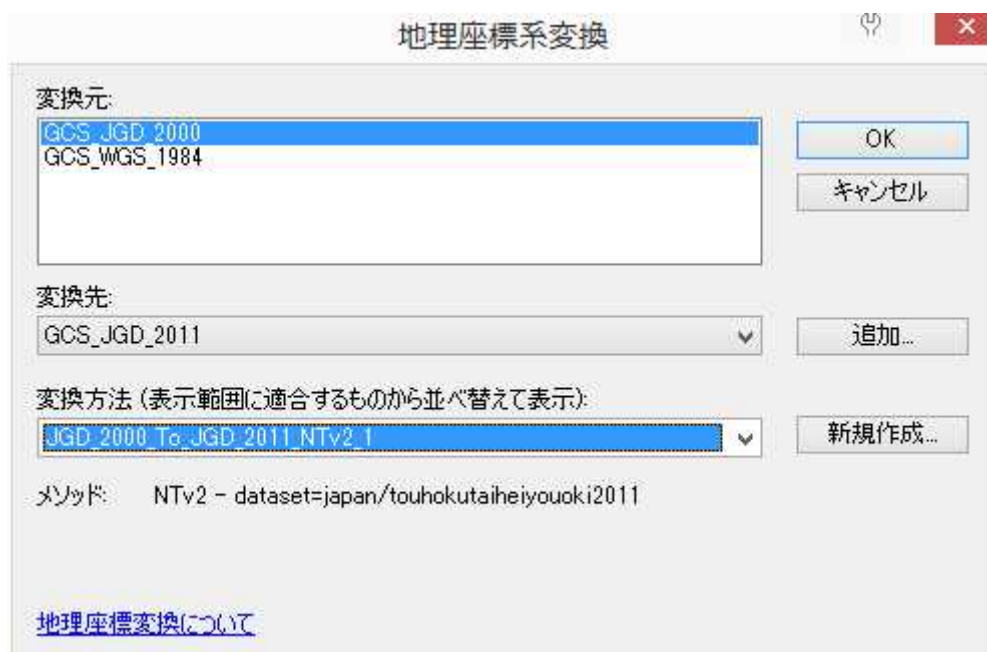
GIS で表示する練習・・・ArcMap にデータを追加し、座標系を合わせて表示

1. 「学校周辺で練習.mxd」を開いて、「校舎の周囲測量」ポリゴンを追加する。

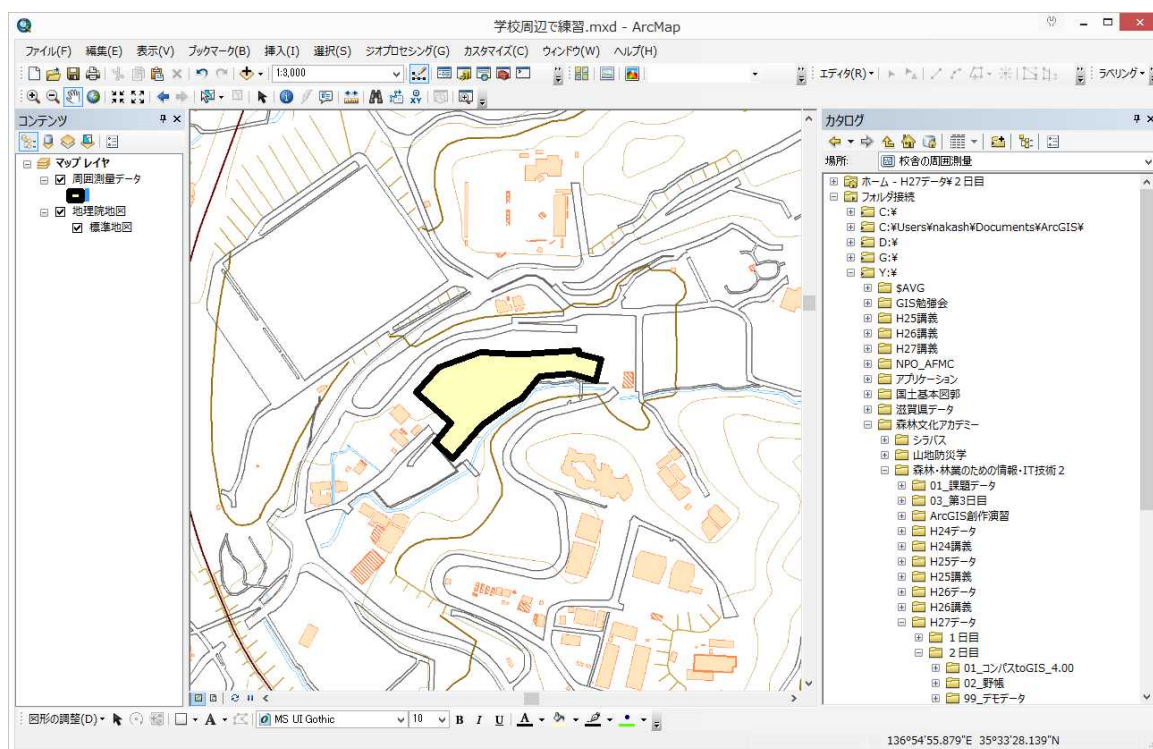


ポイント：なぜこのような警告が表示されるのか？

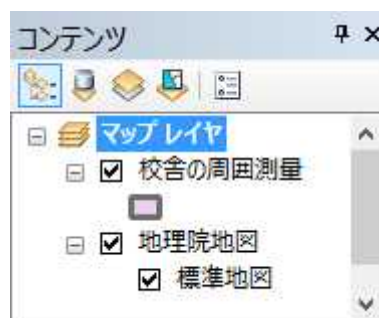
- 2 変換元：GCS_JGD_2000➡変換先：GCS_JGD_2011
変換方法（リストの一番上の方法）を選んでから、OK、OK



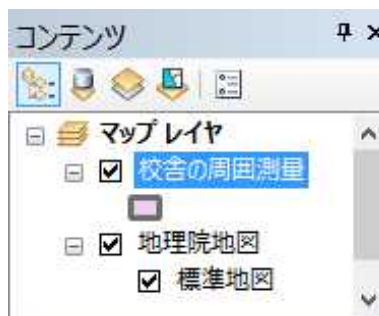
3 ArcMap で表示



4 コンテンツの「マップレイヤ」を右クリック―[プロパティ]―[座標系]で確認



「校舎の周囲測量」レイヤを右クリック―[プロパティ]―[ソース]で座標系確認

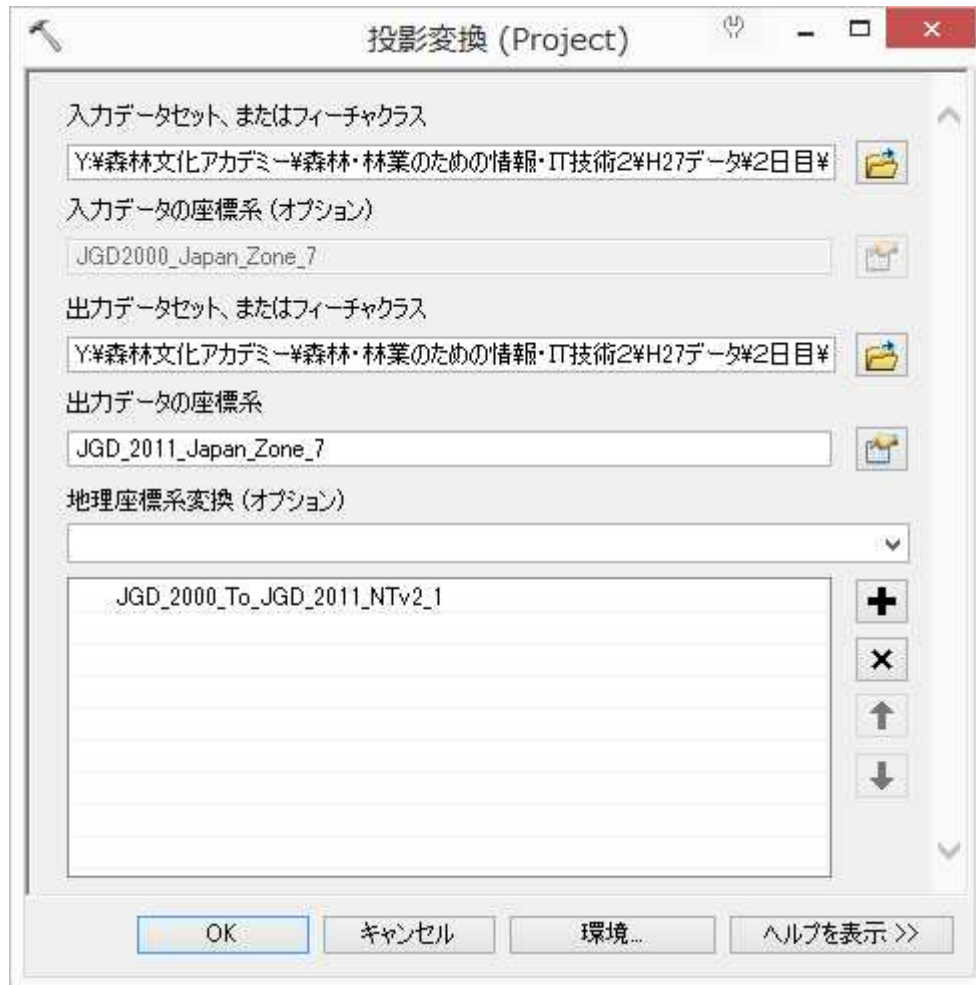


ポイント1：マップとレイヤの座標系が一致していない

↓

ポイント2：すべてのレイヤとマップは、測地系・座標系・投影法を一致させるのが望ましい

- 5 JGD2000 の「校舎の周囲測量」レイヤを JGD2011 に測地系変換する
 [ArcToolbox]—[データ管理ツール]—[投影変換と座標変換]—[投影変換]



- 6 「校舎の周囲測量_Projected」が作成されたら ArcMap に追加する

コンテンツ		プレビュー	説明
名前		タイプ	
	校舎の周囲測量	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
	校舎の周囲測量_Project	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	

ポイント 1：今回は座標系に関する警告が出ないことに注意

ポイント 2：背景の地理院地図は、

「WGS_1984_Web_Mercator_Auxiliary_Sphere」なので警告が出る

GISクラウドへのアップロード練習・・・ArcMapのデータをWEB上へアップ

地理院地図レイヤを削除して、アップする「周囲測量ポリゴン」だけにする

[ファイル]―[サインイン]

例 ユーザー名：it28xx

パスワード：1qaz2wsx



[ファイル]―[共有]―[サービス]



サービスを公開

接続の選択

マイ ホスト サービス (森林文化アカデミー 講師)

サービス名

rensyu_data

サービス名には、半角英数および「_」（アンダースコア）のみを使用すること

< 戻る(B) **続行** キャンセル

サービス エディタ

接続: マイ ホスト サービス サービス名: 学校周辺で練習

パラメータ

ケーパビリティ

Feature Access

アイテム説明

共有

ケーパビリティ

このサービスで有効にするケーパビリティの選択:

☐ タイル マッピング

☒ **Feature Access**

Web 上で編集する場合があるため、ベクトルデータは「Feature Access」選択

サービス エディタ

接続: マイ ホスト サービス サービス名: 学校周辺で練習

パラメータ

キーバリエティ

Feature Access

アイテム説明

共有

Feature Access

REST URL: サービスが公開されると REST URL が定義されます。

許可するオペレーション:

☒ クエリ
☒ 更新
 ☒ 作成
 ☒ 削除
 ☒ 同期

プロパティ



サービス エディタ

接続: マイ ホスト サービス サービス名: 学校周辺で練習

パラメータ

キーバリエティ

Feature Access

アイテム説明

共有

アイテム説明

サマリ (必須):
適当に入力する

タグ (必須):
適当に入力する

タグを選択...

説明:
適当に入力する



サービス エディタ

接続: マイ ホスト サービス サービス名: rensyu_data

パラメータ

キーバリエティ

Feature Access

アイテム説明

共有

共有

サービスを共有する対象:

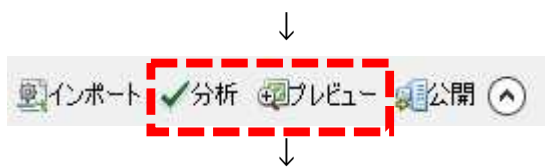
☒ マイ コンテンツ
☒ 森林文化アカデミー講師
☒ すべての人に公開 (パブリック)

以下のグループのメンバー:

☒ IT2



プレビューして図形出力できるか確認後、分析する



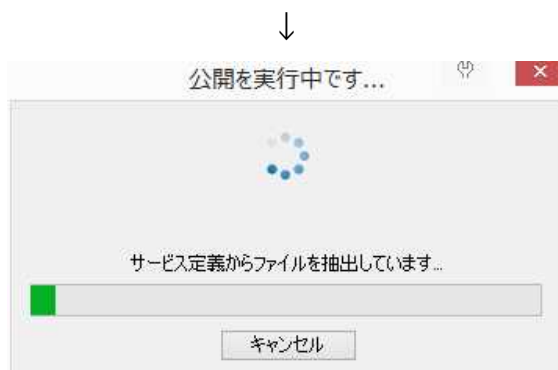
注意：分析して、多くの警告とエラーが出る場合の対処は講師の指示あるまで待つこと

準備				
0 エラー		2 警告	2 メッセージ	分析結果の検索
重要度	状態	コード	説明	
中	未解決	24041	レイヤにフィーチャ テンプレート セットがありません	
中	未解決	10045	データ フレームの全範囲を使用してサーバにコピーされたデータを使用してマップが公開されています	
低	未解決	30003	レイヤはすべての縮尺範囲で描画されています (2 items)	

警告・エラーの修正例

- ・ レイヤにフィーチャテンプレートセットがありません
 - ➡ エディタツール—[編集の開始]—フィーチャ作成ウィンドウからポリゴン選択
- ・ データフレームの全範囲を使用して…公開されています
 - ➡ マップレイヤを右クリック—[データフレーム]—[全体表示コマンドの範囲] [その他]にチェック
 - [表示範囲の指定]をクリック—[現在の表示範囲]にチェック—OK—OK
- ・ レイヤはすべての縮尺範囲で描画されています
 - ➡ レイヤを右クリック—[プロパティ]—[縮尺範囲]で[縮尺に応じて表示を制御] 1:500,000より拡大時に表示、とする

再度、分析をクリックし、すべての警告とエラー修正を完了したら、公開をクリック



以上で、GISクラウドにアップ完了 ➡ 以降は、Web上から作業できる

クラウドGIS側の準備・・・WebGIS（ArcGIS online）を利用

URL : <https://www.arcgis.com/home/>

ブラウザで上記URLを開き、右上のサインインをクリックして、サインイン

ArcGIS 特長 プラン ギャラリー マップ シーン ヘルプ

[サインイン](#)

ArcGIS

Mapping the 2015 Nepal Earthquake

OpenCycleMap

☒ **今すぐサインアップ**

無料の ArcGIS Online アカウントを取得して、今日から Web マップを作成しましょう。

☐ **マップを作成してみよう**

ブラウザ、デスクトップ、モバイル デバイスで表示できるマップを作成します。これら、ブログや電子メールで共有したり、Web サイトに埋め込めます。

サインイン

ユーザー名

パスワード

☒ サイン インを保持する

サインイン

ホーム
ギャラリー
マップ
シーン
グループ
マイコンテンツ
検索

00
00

森
林
文
化
ア
カ
デ
ミ
ー
講
師

サイト設定
メンバーの招待
ステータスの表示
システムの確認
ライセンスの管理

メンバー

表示: 現在のメンバー

名前の検索...

▲名前
ユーザー名
前回ログイン
ロール
対応

00 35
it28xx
2015/05/06
管理

サブスクリプションのステータス

使用可能なクレジット数 200
有効期限: 2015/07/07
サブスクリプションの購入
ID: 6069747982

検索...

最新の追加されたアイテム (結果サイト)
最新の追加アイテム (結果サイト)
すべての人に公開された結果サイトのアイテム
結果のグループ
すべての人に公開された結果のグループ
結果の登録済みアプリケーション
注目のグループ

Esri Maps and Data
Community Basemaps
Landsat Community
Web Application Templates
ArcGIS for Local Government

ページ 1 / 1
表示数 1 / 1

ここから
マイプロフィール

マイプロフィールをクリック→マイプロフィールの編集→編集し、保存する

氏名 (姓) 中島

氏名 (名) 義雄

新規電子メール info@nacap.jp

電子メール (再入力)

ユーザー名

自己紹介

パスワード

パスワードの変更

セキュリティの質問

生まれた都市はどこですか?

答え

美濃市

プロフィールの公開範囲

☒ すべての人に公開 (パブリック)

☐ 組織

☐ 非公開

言語

Japanese-日本語

地域

日本

単位

メートル法

ロール

管理者

組織

森林文化アカデミー

組織の URL

https://it25.maps.arcgis.com

名前変更

メール宛先変更

すべての人に公開へ変更

「日本語」を確認

メートル法へ変更

ホーム ギャラリー マップ シー **グループ** マイ コンテンツ 組織

中島 義雄

マイプロフィールの編集

義雄 のプロフィール

氏名 (姓) 中島

氏名 (名) 義雄

電子メール info@nacap.jp

ユーザー名 as25as

自己紹介

ご自身について、次のような内容を記入してください:

- 組織
- 連絡先情報
- 専門分野
- 興味のある情報
- 他のユーザーに知らせたいその他の情報

プロフィールの公開範囲

すべての人に公開 (パブリック)

言語

Japanese-日本語

地域

日本

単位

メートル法

ロール

管理者

組織

森林文化アカデミー


組織の URL


https://it25.maps.arcgis.com

グループへ移動

Esri.com | ArcGIS Marketplace | ヘルプ | 利用規約 | プライバシー | Esri に連絡 | 不正使用の報告
























名前:
IT2


サマリー:
IT2

説明:

B *I* U                 

IT2のグループ

タグ:

IT2  タグの追加

ステータス:

☐ プライベート (ユーザーはこのグループを検索できません。招待によってのみ加入できます。)

☐ 組織 (組織サイト内のユーザーは、このグループを検索して見つけることができます。)

☒ パブリック (ユーザーはこのグループを検索して見つけることができます。)


☒ ユーザーはグループへの加入を申し込むことができます。



提供者:

☒ すべてのメンバー

☐ グループ所有者のみ


並び替え:

タイトル  ☒ 昇順

 保存 

入力したら保存クリック

マイグループ

 グループを作成

表示

加入中のグループ: 1

すべてのマイグループ

自分の所有グループ

他のユーザーの所有グループ

新規にメンバー加入申請を受けたグループ



詳細

IT2

IT2

作成者 as25as 作成日 2015年5月8日



マイコンテンツへ移動

タイプが「Feature Layer」の方をクリックする

ホーム ギャラリー マップ シーン グループ マイコンテンツ 組織

00

マイコンテンツ

フォルダー

- 新規作成
- as00as (ホーム)

表示

- すべて
- マップ
- レイヤー
- シーン
- アプリケーション
- ツール
- ファイル

+ アイテムの追加 作成 共有 削除 移動 所有者の変更

タイトル	タイプ	更新日	共有
rensyu_data	Feature Layer	2015/05/08	すべての人に公開
rensyu_data	Service Definition	2015/05/08	未共有

検索結果2件中1件から2件までを表示。

編集をクリック

ホーム ギャラリー マップ シーン グループ マイコンテンツ 組織

rensyu_data

練習データ

Feature Layer (ホスト中) 作成者 as00as
ソース: Feature Service
最終更新日: 2015年5月8日
★★★★★ (0 評価, 0 ビュー)
Facebook Twitter

開く 共有 編集 削除 公開 移動 所有者の変更 ステータス エクスポート

ホーム ギャラリー マップ シーン グループ マイコンテンツ

rensyu_data

保存 キャンセル

タイトル rensyu_data

サマリー 練習データ
Facebook Twitter

画像を変更するには、サムネイルをクリックします。

名前を「校舎の周囲測量」に変更する

プロパティを設定して保存する

プロパティ

タグ 練習データ × タグの追加

著作権

削除の防止 ☒ このアイテムが誤って削除されないようにします。

範囲 左: 136.92 右: 136.92 上: 35.56 下: 35.56 範囲の設定

編集 ☒ 編集を有効化して、次の操作を編集者に許可します。
☒ フィーチャの追加、更新、および削除
☐ フィーチャの属性のみを更新
☐ フィーチャの追加のみ

データのエクスポート ☒ 他のユーザーが別の形式にエクスポートすることを許可します。

同期 ☒ 同期を有効化 (同期によるディスコネクト編集)

編集情報の記録 ☐ フィーチャの作成者および最終更新者を記録します。
☐ 編集者は追加したフィーチャを更新および削除することしかできません。



キャンセル

マイコンテンツからマップへ移動

ホーム ギャラリー **マップ** シーン グループ マイコンテンツ 組織



ホーム マイマップ

新機マップ 00-

詳細 追加 ベースマップ 保存 共有 印刷 ルート案内 計画 ブックマーク 住所または場所の検索

1 情報 2 コンテンツ 3 凡例

すぐに操作を開始するためのヒント

ユーザーを選択して、マップに追加します。

マップを削除する

マップを共有する

マップを共有する

Esri 利用規約

①コンテンツをクリック

②追加レイヤの検索をクリック

「校舎の周囲測量」を追加クリック

ホーム ▾ マイマップ

詳細 追加 ▾ | ベースマップ |

レイヤーの検索

検索: (例: パーセル、火事など) 検索

検索先: 組織 ▾

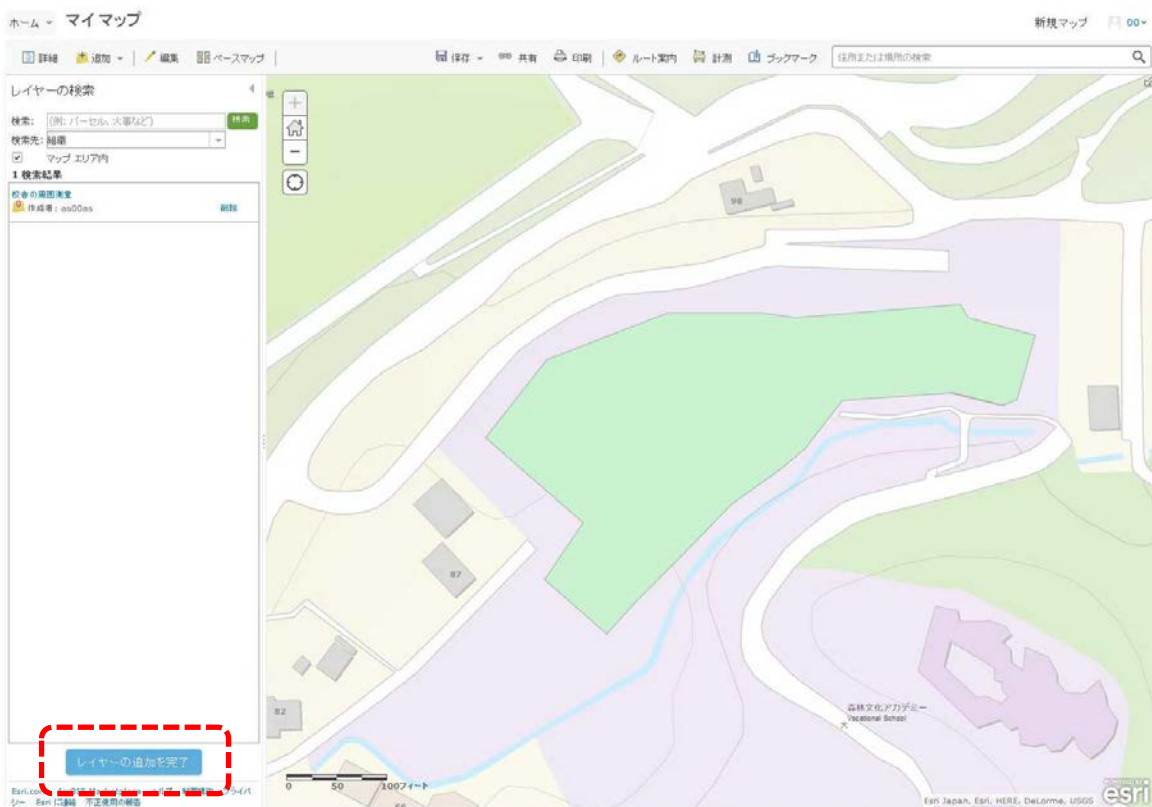
☒ マップ エリア内

1 検索結果

校舎の周囲測量
作成者: i28xx

追加

データが追加されたら、「レイヤの追加を完了」をクリック



この段階で、コンテンツ欄のレイヤを見栄えよく調整したり、修正したりできる

保存—名前を付けて保存をクリック

ホーム ▾ マイマップ

詳細 追加 ▾ | 編集 | ベースマップ | 保存 共有 印刷 ルート案内 計測 ブックマーク

マップの保存



タイトル: 練習

タグ: 練習データ × タグの追加

サマリー: 練習

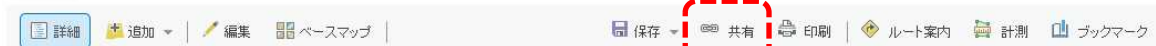
フォルダーに保存: it28xx

マップの保存

キャンセル

共有をクリック

ホーム > マイマップ



他の人とデータを共有したい方法を選んで「共有をクリック」

共有



このマップを共有するユーザーを設定します。

マップは現在、これらのユーザーと共有されています。

- ☒ すべての人に公開 (パブリック)
- ☒ 森林文化アカデミー講師
- ☒ 以下のグループのメンバー:

☒ IT2

メールなどはこちらの URL を

リンクがシェアされます

マップの短縮リンク

<http://arcg.is/1P5szIo>

☒ 現在のマップ範囲を共有

埋め込みマップの利用

WEB サイトに埋め込む

WEB アプリケーションの作成



Facebook



Twitter

完了